

天草家保通信平成30年3月号



〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
 電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
 ホームページアドレス <http://www.pref.kumamo.jp/site/amakusa-1219>
 電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

牛の異常産をワクチンで予防しましょう

流産、早産、死産、体形異常など「牛の異常産」は、細菌、ウイルス、栄養障害など様々な原因があります。中でも、蚊やヌカカが媒介する**アカバネ病**、**チュウザン病**、**アイノウイルス感染症**による異常産は、時に大規模な発生となり、経済的な損失が大きい疾病です。これらの疾病は、全国で散発しており、平成25年には、熊本県でもアカバネ病が発生しました。これら3つの疾病は、ワクチンにより予防できますので、毎年接種を行い、異常産を予防しましょう。

疾病名	アカバネ病	チュウザン病	アイノウイルス感染症
発生時期	夏～翌年春	秋～翌年春	夏～翌年春
臨床症状	水無脳症（大脳欠損や小脳欠損）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・流産・早産・死産 ・脊柱のわん曲 ・起立困難 ・盲目等の神経症状 ※ピートンウイルス感染症も同様の症状	<ul style="list-style-type: none"> ・虚弱、盲目、起立不能 ・体形異常はない 	<ul style="list-style-type: none"> ・流産・早産・死産 ・脊柱のわん曲 ・起立困難 ・盲目等の神経症状
ワクチン	牛異常産3種混合ワクチン （アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症混合不活化ワクチン）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖牛に4週間隔で2回、筋肉内に接種する。 ・前年に接種経験のある牛は、1回、筋肉内に接種する。 ・ウイルスを媒介する吸血昆虫（蚊やヌカカ）が活発化する前に接種する。 		

これら3つの疾病に加え、**イバラキ病**及び**牛流行熱**も異常産をひき起こします。ワクチンが有効ですので、確実なワクチン接種を行い、予防しましょう！！

吸血昆虫について

前項に記載したヌカカその他、吸血昆虫は様々な疾病を媒介します。異常産の原因となるウイルスを媒介する蚊やヌカカ、牛白血病を媒介するサシバエ、アブなどが良く知られていると思います。今回は、これらについて生態と防除法について紹介します。

ヌカカ

異常産ウイルスを媒介するヌカカは、主に**ウシヌカカ**であるといわれています。

体長は1～2mm程で、非常に小さいため、防虫ネットや衣服の隙間も通り抜けます。**幼虫は湿地、植物に貯留した水滴など水辺**に生息します。

吸血は、産卵前のメスのみが行います。吸血によって、ヌカカ体内にウイルスが取り込まれ、増殖した後、吸血をする際に再度牛の血液中に侵入します。

生態については不明な点も多く、非常に小さく、ヌカカに対する防除は難しいため、**異常産を予防するには、ワクチン接種を確実に**行うことが重要です。

サシバエ

サシバエは、イエバエと同様に、卵からふ化し、幼虫、脱皮、蛹化、羽化を経て（産卵から2～4週）成虫となり、メスは産卵のために吸血し、産卵を行います。

幼虫は糞や飼料残渣を食べるため、産卵場所は、有機物の多い**牛舎内の隙間（飼槽周辺）や堆肥周辺**となります。そのため、効果的な防除法は、**堆肥を頻繁に切り返すこと、堆肥の発酵熱を50度以上**にすること、**昆虫成長抑制剤を使用**するなど、幼虫が成虫にならないようにすることが効果的と考えられます。

捕獲法としては、サシバエは黒に集まり、地上から30cm以下の垂直な壁に止まることが多いため、粘着シートを、**黒地のもの**で**地面の低い位置に筒状にして立てて設置**することが有効と考えられます。



イエカ（左）ウシヌカカ（右）
動衛検アカバネ病紹介ページより



ヌカカ（幼虫）
農研機構ホームページより



サシバエ（成虫）



サシバエ（蛹、幼虫）

アブ

アブは、種類が多く、種によって生態が異なります。農場内で見られるアブも1種類ではなく、数種類が混在すると言われています。

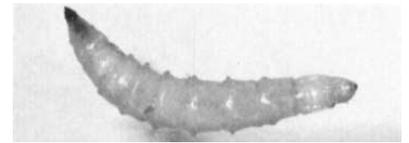
ライフサイクルは、イエバエやサシバエより長く、卵（1～2週）、幼虫（1～3年）、蛹（1～2週間）、成虫（1ヶ月）となります。

牛に吸血する種の多くは、**幼虫がミミズや昆虫を食べる**ため、産卵場所は**牛舎ではなく、昆虫やミミズ生息する牛舎周辺（1～2kmは移動可能）の草地や林地の湿地になる**ので、**幼虫の駆除が難しい**と考えられます。

そのため、**アブトラップによる捕獲**や**防虫ネット**等による成虫を減らすことが必要となります。



アブ（蛹）



アブ（幼虫）
バイエルホームページより

3月になり暖かくなり始めました。昆虫等も少しずつ見られるようになってきました。感染の原因となる吸血昆虫対策を実施し、媒介される疾病を予防しましょう！！

海外悪性伝染病発生状況

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	モンゴル	1月15日	牛、羊、山羊	O型
	ロシア	2月8日		
高病原性 鳥インフルエンザ	台湾	1月31日	肉用あひる	H5N8
		2月15日	地鶏	H5N2
	香港	2月7日	野鳥	H5N6
	韓国	2月8日	採卵鶏	H5N6

平成30年3月1日時点

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

